

平成30年度第3回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 平成30年10月22日(月) 10時00分～12時00分
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室
- 3 出席者 委員7名、事務局4名
- 4 議事

(1) 平成29年度に実施したパブリック・コメント手続の個別評価について

○事務局

<開会>

出席者委員の報告。8名中7名の出席で、審議会は成立。傍聴希望者はなし。

○会長

議事に入る前に前回の審議会の会議録について、委員の内容に関する意見を入れるかどうか。会議録なので、発言事実については記載をし、その後の扱いについては事務局に委ねる。

それでは議事に入る。前回の続きNo.6「宝塚市一般廃棄物処理基本計画(案)」から審議をしていく。

順番にご意見をお願いします。

○委員

評価C

用語の解説を適切な場所ですて欲しい。今後の方針等の記載が欲しい。ページの構成が、意見を出しにくい構成。もう少し工夫をしてほしい。

○委員

評価A

概要版はわかりやすい。全体的な量もちょうど良い。楽しく関心度を高めて、市民からの意見をもらいやすいようにするのは良い。

○委員

評価B

基本計画、概要版については図・表などを用いており分かりやすく良かった。課題として、パブリック・コメントの意見募集の開始日は、平成30年2月1日だが、募集のために公表された基本計画(案)は、2018年3月版となっている。本編にある計画が概要版では一部抜けている。

○委員

評価A

概要版は子供が見てもわかるような、非常にわかりやすい内容。

○委員

評価B

募集について、概要版について、文字も大きく非常にわかりやすい。カラーで視覚にも訴えている。問題点も明確に書かれている。

本編に入るとこれらの内容がぼやけてしまっている。ストレートに本編でも視覚に訴えるような内容にしてほしい。

○委員

評価B

概要版で全体的なことがわかるので良い。結果公表でパブリック・コメント手続き以外の修正内容がある。なぜ修正したのかの理由の記載がなく、ページ数の記載もない。3月に募集をかけてできあがりも3月となっている。もう少し早く募集をかけるべきではないか。

○会長

総合評価はAとするがよろしいか。

(全員同意)で評価A

○会長

続いてNo.7「宝塚市障害福祉計画(第5期計画)宝塚市障害児福祉計画(第1期計画)」を審議する。

○委員

評価B

全体的にアイデアを出して、工夫をして欲しい。

○委員

評価C

結果公表で市民の意見に対する市の回答が「〇ページのとおり」と読み手に対しても分かりやすく説明されている。計画案そのものは非常に読みにくい。読み手の立場を考えて資料を作成する必要がある。

○委員

評価C

本編の記述の箇条書きでの表示の仕方は、フロー形式で理解しやすい。概要版は本編のどこに対応しているかも記載されており、良い。本編計画案にも表などが挿入されている。ページ数の記載に誤りがある。(P167→P161)

○委員

評価A

全体を通して今までの障害福祉に関する計画の中には見られないほど、語尾が毅然としている。

○委員

評価B

意見募集内意見の提出方法で、障がい者に対する配慮が行われている。他の案件にも入れた方がいいのではないか。概要版も本編に記載されているページ数が表記されており、非常に読みやすい。本編にも丁寧な注釈が書かれており、うまくまとめられている。文字はもう少し大きくした方が読みやすい。

○委員

評価B

概要版はページ数が入っており良いが、図表は本編に譲るなどしてもう少しボリュームを減らしてもらいたい。募集要項の中にも

- 「〇ページ参照」等の記載があればなお良い。
- 会長
総合評価はBとするがよろしいか。
(全員同意)で評価B
- 会長
No.8「宝塚市地域防災計画改定版(案)」を審議する。
- 委員
評価B
表紙のキャッチフレーズが良い。
- 委員
評価A
1,300ページの内容をととてもよくまとめ上げている。該当ページの記載が明確に書かれており、長い資料ではあるが閲覧しやすい。余白の使い方が工夫されている。
- 委員
評価C
表現の形式が箇条書きになっており、理解がしやすい。場所によっては文章の前にチェックボックスのようなものがあり、この工夫も良い。膨大な量なので、個々にやるべきことがわかりやすく便利な方式となっている。
- 委員
評価A
語尾の言葉が箇条書きになっていることもあり、はっきりと書かれている。
- 委員
評価B
1,386ページを1,060ページに再編集したことは評価できる。概要版に記載の「本編〇ページに記載」という親切的な表現も、わかりやすく良い。市民の意見に対しても丁寧な対応をしている。
- 委員
評価C
結果公表の修正箇所について丁寧に書かれている。
防災会議についての情報がない。どこの部署が責任を持って作成したのか、この案の作成者が書かれていない。
- 会長
評価B
総合評価はAとするがよろしいか。
(全員同意)で評価A
- 会長
以上で、本日の予定案件の審議が終了したが、全体を通して総括として1人ずつ意見を願います。
- 委員
年々良くなってきており、中身も充実しているが、資料のボリュームが増えているのが気になる。これを渡された市民もなかなか手を付けにくい。中身はとても興味深いものばかりであるが、量とのバランスはとても難しい。その解決策として概要版と本編とで分けている。全体として、宝塚市のまちを良くしようという考えは素

晴らしい。

- 委員 周知させるためには毎年同じことでも訴えないといけない。前年からの違いを明記することや、中身の工夫をしていくことが求められていくと思う。市と市民とが協働事業の目的でパブリック・コメントを行っているのであれば、市役所の中でもお互い意識を高めていくことが大事。
- 委員 各課担当が精力的な作業をして作っているのが伺えるが、それに対して意見が少なすぎるのではないかと。1桁台では少ない。関連するものもあるので、行政側から市民に積極的に働きかけをしてもいいのではないかと。思う。
- 委員 とても勉強になった。普段の生活ではなかなか関われないことを知る事ができた。
- 委員 協働のまちづくり促進委員会に入っており、色々市を中心として動いているが、市民がどこまで理解しているかが見えてこない。自治会・まちづくり協議会の動き自体がわかっていない市民も多い。パブリック・コメント自体を知らない市民も多い。その間に入っているNPO団体・社会福祉協議会なども、市民に対して理解を求めていって初めて、市民が理解をし、意見を言えるようになるのではないかと。そこで重要なのは、説明書が誰が見ても分かりやすいように作ることが重要であり、必要である。概要版も工夫されており、素晴らしいと思うが。
- 委員 長年委員として携わっているが、審議会での審議が変わってきている。最初はパブコメとは何かを市民に伝える、次いで結果公表についても審議し、最近では中身を審議することも多くなった。中身の話は審議会での対象でないように思う。パブコメ制度は概ね適切に運用されているように思う。市民が意見を述べるためにはどのようなしたら良いかということが課題。評価についても、個別の評価シートを勘案して評価をすべき。
- 会長 総括の中で出た意見も何かしらの形で答申に活かしてもらいたい。選択は事務局の判断に任せる。次の議事に移る。
パブリック・コメントの運用状況評価について、事務局より報告いただく。
- 事務局 平成29年度パブリック・コメントを実施しなければならないにも関わらず、実施しなかった案件はなし。
- 会長 本日の評価結果と、意見を整理して答申を作成する。答申は全体的な総括評価と、8件の個別評価で作成する。個別評価につい

ては表形式でA～Eの評価と評価コメントを箇条書きで記載。現在のところEはなし。会長・副会長・事務局で答申案をまとめ、事前に各委員に送付し、次回の審議会での意見を踏まえ最終修正をし、市長へ答申書を提出する。市長への答申は12月を予定。

今後のスケジュールについて事務局より連絡をお願いします。

○事務局

次回の開催日程は、平成30年11月12日（月）午前10時からとし、答申（案）について審議する。また市長への答申提出の日程は、候補1日目は12月17日（月）午前11時から、候補2日目は12月26日（水）午前10時から。それぞれ30分ほど。現段階での都合をいただきたい。

→12月26日（水）午前10時からで確定。

後日事務局より案内を送付する。

○会長

総括として意見をのべさせていただく。副会長からも指摘があったが、各条例案等の中に策定プロセスは明記すべき。これは全体に伝えていただきたい。策定日時・策定委員の明記など。また、市民がどこまで理解していたかはバラつきがある。どんな媒体を使っているのかをアピールしても良いのではと思う。社会福祉協議会などの中間支援組織を利用して広報するのも大事。

また、パブリック・コメント制度は情報公開制度ではなく、参画と協働の制度である。策定委員会が策定して終了ではない。もっとたくさんの市民が参加してもらえるようにアピールをしてほしい。応募件数・発言件数が少ないのは、行政側の働きかけが足りないとみなす。もっと意見を出してもらえるように働きかけをすべき。文化庁でも個別に呼びかけなどを行っている。

また学校・家庭・地域でやってもらいたい計画は多くあるが、計画書にその記載はない。団体自治（行政）のための計画になってしまっているので、住民・地域など住民自治の役割を担えるような計画書を作ってほしい。

その他意見が無ければ、本日の審議会を終了する。

